

## 横浜みなとみらい保育園の自己評価

### Ⅲ 保護者支援

Ⅲ-1 家庭との緊密な関係 ①子どもの成長の喜びを共有 ②保育内容の説明、応答責任③子育てに関する相談、援助 ④保護者への個別支援

社会福祉法人長幼会		評価の着眼点		評価		
				29年度	30年度	年度
Ⅲ 家庭との緊密な関係 保護者支援	◇子どもの成長の喜びを共有するために保育内容等の説明や応答責任を果たしている。	47	保護者に園の方針、保育理念、保育内容等の説明をしている。	b	a	
		48	保護者と職員が子どもの生活や成長等の共通理解を得るための機会を設け、子どもの成長の喜びを共有している。	a	a	
		49	子どもの発達や育児などについて、懇談会等保護者同士の子育ての経験を共有共感できる場を設けている。	a	a	
		☆				
	◇保護者の状況を踏まえ、養育力の向上に資するよう、適切に支援している。	50	保護者に寄り添い保護者が自己決定を出来るように、子育ての相談に応じたり、個人面談の機会を設ける等、積極的に保護者に対する支援を行っている。	a	a	
		51	保護者と日常的なコミュニケーションを図り、信頼関係を築く大切さを職員間で共有している。	a	a	
		52	保育に関する知識やスキルを活かして相談を受ける仕組みになっている。	b	b	
		53	必要に応じて専門の関係機関の相談窓口等を紹介している。	b	b	
		☆				
	◇虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけている。	54	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	a	a	
		55	児童虐待を発見した場合の対応について、マニュアルがあり職員間で確認している。	b	a	
		56	児童相談所・区役所・保健師・民生委員等との連携を図り連絡や協力が可能な状態にある。	b	a	
		57	家族支援の必要な保護者を援助し、虐待を予防する体制になっている。	b	a	
	☆					

Ⅲ-2 地域における子育て支援 ①保育所の機能の開放 ②関係機関との連携 ③情報提供

	視点	評価の着眼点	評価		
			29年度	30年度	年度
Ⅲ 地域における子育て支援 保護者支援	◇地域の子育て支援ニーズに応じて、施設の専門性を生かしたサービスを提供している。	58 保育所の資源（施設開放、相談援助、交流の場、情報提供）を開放している。	a	a	
		59 職員が子育て支援の重要性を認識し、保護者が安心して気持ちよく利用できるよう共通認識している。	a	b	
		60 地域住民から意見を聞く等地域ニーズの把握に努めている。	b	b	
		61 実習生・職業体験・ボランティア等の受け入れマニュアルがあり、保育所の基本姿勢や方針を職員に周知している。	b	b	
		62 心身の状況を考慮し、一時保育を実施している。	a	a	
		☆			
	◇関係機関と連携し、地域性に応じた子育て支援をしている。	63 他機関と連携し支援事業をしている。	c	b	
		64 関係機関、地域の団体などの情報を職員が共有し、必要に応じて仲介している。	c	b	
		65 地域と協力して行事を行う等、地域の団体や機関と定期的・計画的に交流を図っている。	b	b	
		66 地域の人材、設備、機能等をコーディネートしている。	b	c	
		67 小学校児童と園児との交流行事を行ったり、定期的に情報交換するなど、連携体制がある。	b	b	
		☆			
	◇地域の子育て資源、子育て支援に関する情報を収集し必要に応じて提供している。	68 ホームページ、パンフレット等の資料を、公共の場に置くなど情報の公開をしている。	a	a	
		69 必要に応じて子育てに関する情報、地域子育て支援事業の情報を提供している。	a	b	
		70 「地域子育て支援拠点」と連携し、情報の収集・提供を行っている。	a	b	
		71 見学者の受け入れなど柔軟な対応をし、情報を提供している。	a	a	
		☆			